

○事業所名	大分こども発達支援センター にじのいる		
○保護者評価実施期間	令和6年11月11日		～ 令和6年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年11月9日		～ 令和6年12月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に大分こども療育センターがあり、医療との連携も取りやすい環境にある。</li> <li>・体を動かすことができるプレイルームや園庭があり、児童が活動できる環境が整っている。また、児童が不安定な状態になった際に、クールダウンできる部屋がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我等があった際には、看護師に診てもらい、早急に対応することができる。また、怪我や症状の状態によって、保護者に連絡し情報共有している。</li> <li>・児童が不安定になった際に、他の児童に影響を及ぼす可能性がある場合には、クールダウンの部屋を用意し、お互いが落ち着いて過ごせるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内での各専門職による研修などを通して、支援方針などを学ぶ機会を増やしていかれたらと思う。</li> <li>・児童が不安定になった際に、部屋だけでなく関わり方を特定の職員だけでなく正規職員、臨時職員問わず対応できるよう部署間で勉強会を開くと良いのではないかとと思う。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士、言語聴覚士、児童指導員など他職種が児童の支援に携わっている。そのため、支援に対して多角的な視点で支援方針を検討することができる。</li> <li>・相談支援事業所が組織内に設置されている為、子どもや保護者の情報をタイムリーに共有できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種が連携しながら児童と関わる中で、支援方針を様々な視点で捉えることができる。また、現場に他職種が入ることで支援方針に偏りなく関わることができる。</li> <li>・担当の相談支援専門員が実際子どもが過ごしている様子を直接見ることができ、都度職員と情報共有を図ることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容を共有するために、定期的なミーティングを実施しているが、困難事例に対して、ミーティング内で事例検討などを実施できたらと思う。</li> <li>・担当者会議だけでなく、子どもや保護者の状況に応じて、相談支援専門員との情報共有の場を責任者以外の職員も参加できるとより良いのではないかとと思う。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の行事を通して、地域で活動している方々と触れ合う機会がある。消防や警察の車両見学会、演奏会などを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部署合同で実施しているため、幅広い年齢層に対応できる活動内容を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事などを通して、施設を知って頂く機会を増やしていかれたらと思う。また、同じ分野の他施設との交流できる機会もあればと思う。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後、就労に移行できる事業を実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労施設がないため、移行時期が近づいた際に、受け入れが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方と学校、他事業所など先を見据えた移行先などを検討することが必要である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署との兼務職員もおり、書類などで支援内容を共有はしているが、情報共有が密には出来ない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への送迎時間や参画している職員の勤務形態により全職員揃っての共有が難しいこと。</li> <li>・書類を通しての理解だと自己解釈が生じ、支援内容の理解にズレが生じてしまうこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類を理解する上では、自分だけの理解に留まらずに、他職員に再確認するようにする。</li> <li>・何故そのような支援をするのかを一人一人が考えを深め、職員同士で協議する機会を現状よりさらに確保していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等で他施設との交流や情報交換はしているが、それ以外の交流は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務を継続しながら、他施設との交流を図る時間の確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設との交流を図り、本事業所について知ってもらえる機会を設ける。</li> </ul>

事業所名 大分こども発達支援センター にじのいる

公表日 令和7年3月1日

利用児童数

17

回収数

17

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	1			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	5	3	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	4	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	5	4		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2			

事業所名 大分こども発達支援センター にじのいる

公表日 R7年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・個に応じて空間を分けて対応している。 ・利用児に自己選択をしてもらい、安心できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・各部署と連携し対応を行っている。 ・個別対応が必要な際には、他部署からの要請を依頼している。 ・定員に準じて、配置基準に基づいて配置している。	・現時点でも連携して他部署からの要請を行っているが、今後は他部署の職員配置を職員間で把握できるような場を設けることも必要である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・イラストや写真など掲示している。 ・活動するスペースはバリアフリー化に取り組んでいる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・整理整頓、消毒など徹底している。 ・玩具の入れ替えなど安心して過ごせるようにしている。 ・子の状況に合わせて、構造化の空間を設定している。 ・年齢ごとに部屋を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・子の状況に応じて、個室対応やクールダウンができる環境を設定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・職員間で共有できるように記録に残し、支援の振り返りを行っている。	・他部署と兼務の職員も多い為、今後は現在より更に業務時間内で共有できる時間を他部署と調整しながら確保していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の意向を聞きながら支援や活動に対応している。 ・組織のホームページ上に年1回公開し、保護者様の意向を反映するよう心掛けている。 ・回覧やミーティングで共有し改善している。 ・バスの送迎の際、会話をする機会がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ミーティングを通して、情報共有を行っている。 ・業務改善を含めて年1回上席による職員面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		・第三者による外部評価はしていない為、今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・研修に参加できるように体制を調整し、研修に参加している。 ・全体に研修の周知をしている。 ・「業務研修」「自己研鑽研修」を設け、子の為の資質向上に努めている。 ・研修が開催される日の用紙をプリントし、全職員に回覧で回し、参加を募る。	・より良い子どもの支援に繋げられるよう、現在の研修報告会の仕組みを検討していきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・支援計画を基に支援に対応している。 ・回覧などで共有している。	・支援プログラムの公表は現段階では、実施出来ていない為、方法を含めて今後検討していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・モニタリングにて情報共有を行い、支援方針について統一している。利用前には必ずアセスメントを実施している。 ・多角的な視点でアセスメントを行い、計画書に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・子の状況をまとめて、情報共有を行い、支援方針について統一している。 ・他職種の意見を踏まえ、段階的な目標を計画書に反映させている。 ・計画作成する上で、児童発達管理責任者も参加した上で、子の様子を意見交換した上で十分に検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員間で共通認識を行っている。都度話し合いをしている。 ・個別支援計画を全職員が見れる位置に置いている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画書を基に支援を行っている。</li> <li>・標準化されたツールはないが、計画書に基づく達成度を確認している。</li> </ul>	・今後は標準化されたツールの使用も検討していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特性に応じて対応し、活動内容や活動場所を調整している。</li> <li>・保護者や子の意見を聞きながら、その子にとって何が大切か必要かを見極めながら支援に取り組んでいる。</li> <li>・聞き取りや、行動観察を基に目標を設定している。</li> <li>・「地域支援／移行支援」として園外活動も保護者の意向も含め大切にしており、子の環境や特性も含めて支援内容も設定している。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任者と支援者で様子などの情報共有を行い、活動プログラムを設定している。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが楽しめるような活動内容、園外活動を取り入れている（特性に応じて）。</li> <li>・子どもの年齢層や季節ごとに合わせて、活動内容を変えるよう工夫している。</li> </ul>	・固定化しないようにはしているが、今後は年齢層ごとに活動内容を変えていけるよう検討したい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情緒面や特性に応じて個別の活動も行っている。記録などにも残している。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずミーティングを行い、共通認識をしている。</li> <li>・前回の振り返りや、支援者の役割について話し合いをしている。</li> <li>・支援前に前日の振り返りを職員間でしており、記録も保存している。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援記録の記載し、特記事項に関しては必要に応じて早急に対応している。振り返りについては翌日に対応している。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に基づいて支援や記録を行っている。</li> <li>・子の様子（気づいた部分等）関わった支援者が対応している。</li> <li>・記録を通して子の変化に対する気づきを深めている。</li> <li>・その日の支援について記録をしながら、職員同士で情報共有するよう努めている。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて見直しをしてモニタリングを行っている。</li> </ul>	・個別支援計画書の共有についてより深められるよう方法を検討したい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子に応じて対応している。保護者と共有しながら優先順位を決めて支援している。</li> <li>・基本活動を通して、地域社会で生活できるスキルを身につけている。</li> </ul>	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択できるように環境調整を行い、自己選択できるように取り組んでいる。</li> </ul>		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に日程調整を行い、参加している。</li> <li>・責任者を中心に日々の子の変化など情報をまとめ参加している。</li> <li>・状況に合わせて複数名での参画も実施している。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて情報共有を行っている。</li> <li>・学校では送迎時に担任とやりとりしている。</li> <li>・定期的な会議を通して、情報共有を図っている。</li> <li>・相談支援専門員を仲介としながら、都度支援に必要な情報を共有し、連携している。</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校のホームページや保護者から情報を頂いている。お迎えの際は学校での様子の引き継ぎをしている。</li> <li>・連絡帳を通して都度共有している。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の児童発達支援職員と情報共有している。移行の際にはクラス担任と支援方針等やりとりをしている。</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子の特性に応じて情報を提供し、相談支援専門員と連携している。</li> <li>・子や保護者が安心できるように努めている。</li> <li>・会議等を通して、子の強み、特性を伝達している。</li> </ul>	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通して情報、意見交換を行っている。</li> <li>・専門職と連携を図っている。</li> </ul>	

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		6			・学校などで交流を行っているが、一緒に活動する機会がない為、今後検討していきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		・担当を決めて協議会に参加している。 ・組織の職員がメンバーとして参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・連絡帳やバス送迎時に報告、伝達し共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2			・今後心理士と連携しながら、取り組む必要がある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に、具体的な支援内容や説明を行っている。 ・利用児の負担額や上限管理など書類に基づいて説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・保護者と情報共有を行い、連携を行っている。 ・面談などを通して、子どもの特性、家庭や学校での様子を聞き取っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			・同意を頂く前に説明、内容を把握してもらい支援内容の説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・送迎時や連絡帳にてやりとりを行い、定期的に声掛けや相談内容について助言を行っている。 ・相談支援専門員から都度情報を得るようにし、上席からのアドバイスを踏まえて助言するようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5			・現段階では行っていないが、今後機会が設けられるように検討していくことが必要である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・職員間で報告、連絡、相談を徹底している。 ・職員より責任者への伝達を迅速に行い対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			・ホームページや通信などで子の様子や活動内容についてお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			・個人情報については書類等を1カ所にまとめて整理している。年度ごとに整理して倉庫へ保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			・連絡帳などを使用して情報伝達している。 ・職員側も積極的にコミュニケーションをとるようにしている。 ・具体的に分かりやすいことばでのやりとりを心がけている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5			・現段階で招待する行事は行っていない為、今後は地域の方とも交流できる行事を企画、検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・委員会を設置して対応している。 ・各種マニュアルを保管し、定期的に訓練も実施している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・避難訓練を実施している。 ・備蓄品に関しても定期的に見直しをして入れ替えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			・年に1度、緊急連絡票を用いて記入してもらっている。都度変更がある際は、お薬手帳のコピーや服薬について話し合いをしている。 ・子どもの状況に応じて、同意書を管理しており、安全面に努めている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			・必要に応じて医師の指示書を提出してもらっている。 ・同意書に基づきおやつを提供し、定期的に見直ししている。 ・アレルギーのある子どもについては、カゴに分けるなどして対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・委員会を設置し、定期的に確認している。 ・研修に参加した際は復命を行って、共有している。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・緊急連絡先を用いて、何かあった時に対応できるようにしている。また、災害時の基準を作成し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットの作成をし、情報共有ができるように回覧している。 ・ミーティングを通して共通認識している。	・各部署で完結するのではなく、再発防止策を他部署も交えて検討していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修会には必ず1名参加して、復命研修を行い、共通認識できるようにしている。 ・年1回全体研修として研修会を施設内で設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約時に同意書を得ている。鍵の使用やクールダウンのお部屋での支援については説明をし了承を得ている。 ・計画書に反映させ、子どもが安心して過ごせるよう環境調整を図っている。	